

第3章 早期発見・支援の状況

「発達障害早期発見・支援システムに関する調査」結果

発達障害支援プロジェクトチーム（調査班）事務局

鳴門教育大学大学院 特別支援教育専攻 津田 芳見 富永 由美子

【調査について】

発達障害については、発達障害者支援法により、早期発見・発達支援が行われることが国及び地方公共団体の責務とされております。平成18年9月から19年7月にかけて徳島県が実施した『特別な支援を必要とする幼児・児童生徒の実態調査』では、何らかの特別な支援を必要とする幼児・児童生徒の在籍率は、5.2%（医師の診断によるものではない）との結果が得られましたが、発見から発達支援への連携支援の状況等について、具体的な把握は行われておりません。

本調査では、今後の発達障害の早期発見・支援システムの構築に向けて、県内市町村における保健・保育・教育等の各支援現場における「発達障害を視野に入れた取組の実施状況」について調査を実施しましたので、その結果を報告します。

【調査対象】

『知的障害のない発達障害児（注意欠陥・多動性障害、自閉症などの広汎性発達障害、学習障害等）』や『発達障害の疑いのある子ども』を対象に紙面調査を実施。

（1）平成21年度

- ① 調査対象：『認可保育所（園）214箇所』、『幼稚園165箇所』（私立を含む）
- ② 調査期間：平成22年3月～平成22年4月

（2）平成22年度

- ① 調査対象：24市町村の『市町村母子保健担当』、『市町村教育委員会』
- ② 調査期間：平成22年8月～平成22年9月

【調査項目】

平成21年度における①概要、②支援体制や対応状況、③連携状況、④今後必要なことなど（※保育所（園）、幼稚園については、22年の3月1日までの状況）

【調査事務局】

「発達障害支援プロジェクトチーム（調査班）」を組織
（鳴門教育大学、県保健福祉部関係課、県教育委員会、県発達障害者支援センター、ひのみね総合療育センター、県発達障害者支援体制整備検討委員会委員により構成）

1. 保育所（園）・幼稚園への調査の結果

- 調査対象・・・徳島県内の全ての認可保育所(園)214か所と幼稚園165園
- 記入者・・・所・園の全体のことを把握できる方へ記入依頼
- 調査期間・・・平成22年3月～4月
- 対象期間・・・平成21年度（3月1日まで）
- 対象・・・知的障害をとまなわない発達障害児（疑いのある子を含む）

 注意欠陥・多動性障害＝ADHD（年齢に不釣り合いな注意力、又は衝動性・多動性が認められる）、広汎性発達障害（自閉症、アスペルガー症候群などが含まれ、社会性や対人関係に課題を抱える）、学習障害＝LD（全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す）
- 回収率・・・保育所(園)62.6%（134か所）、幼稚園83.0%（137園）

（1）保育所（園）の発達障害児の在籍（有効回答＝132か所）

保育所(園)に在籍する「医師により発達障害の診断を受けている子」と「疑いのある子（保育士から見て発達障害の疑いがあると感じている子）」の人数。

	保育所(園)の在籍(人)			発達障害児の在籍(人)			発達障害児の在籍率(%)
	公立	私立	合計	診断有	疑い児	計	
0歳児クラス	357	539	896	1	15	16	1.79
1歳児クラス	738	808	1,546	5	59	64	4.14
2歳児クラス	1,115	832	1,947	15	112	127	6.52
3歳児クラス	1,319	860	2,179	54	114	168	7.71
4歳児クラス	873	575	1,448	42	89	131	9.05
5歳児クラス	677	420	1,097	36	52	88	8.02
合計	5,079	4,034	9,113	153	441	594	6.52

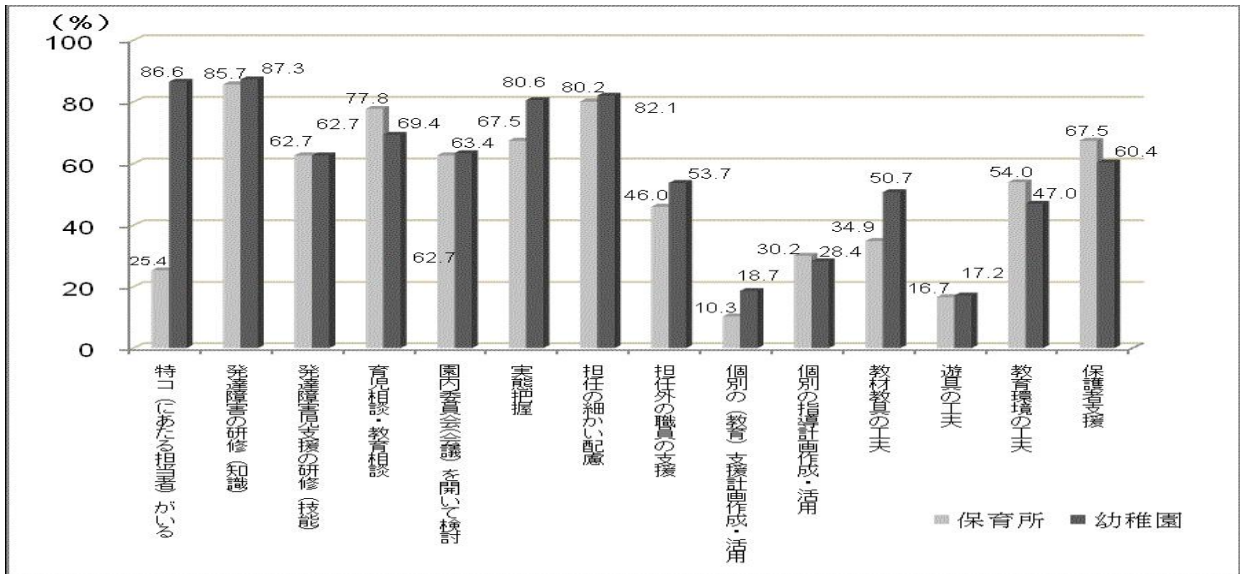
（2）幼稚園の発達障害児の在籍（有効回答＝134園）

幼稚園に在籍する「医師により発達障害の診断を受けている子」と「疑いのある子（職員から見て発達障害の疑いがあると感じている子）」の人数。

	幼稚園の在籍(人)			発達障害児の在籍(人)			発達障害児の在籍率(%)
	公立	私立	合計	診断有	疑い児	計	
3歳未満児クラス	0	11	11	0	0	0	0
3歳児クラス	71	409	480	4	4	8	1.67
4歳児クラス	2,265	503	2,768	44	83	127	4.59
5歳児クラス	3,140	516	3,656	66	94	160	4.38
合計	5,476	1,439	6,915	114	181	295	4.27

(3) 発達障害児に対する保育所(園)・幼稚園の体制や対応

(有効回答 = 保育所(園)126か所、幼稚園 = 133園)



※「特コ」=特別支援教育コーディネーターの略。

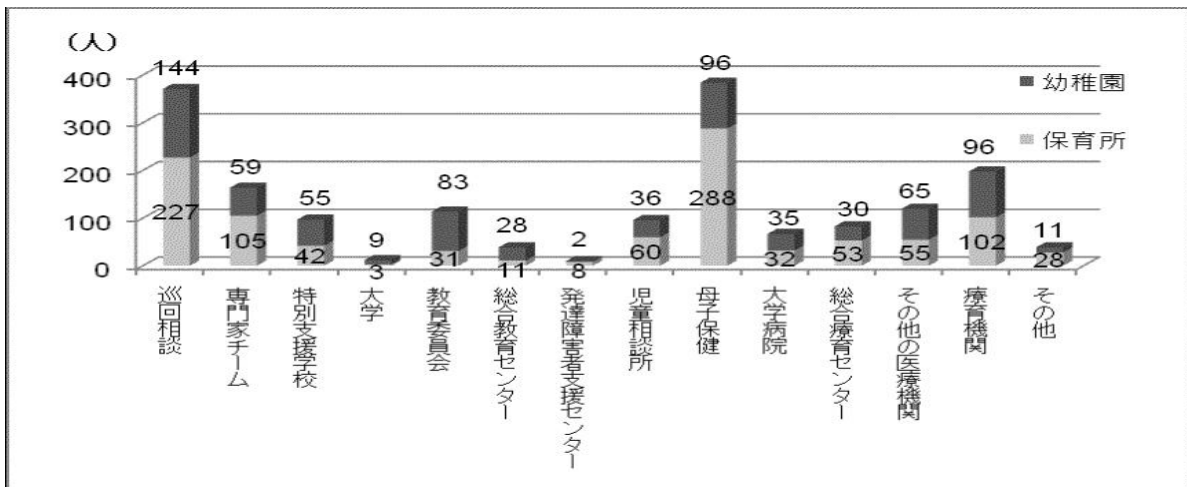
※「園内委員会」=幼稚園内に置かれた発達障害を含む障害のある幼児の実態把握及び支援の在り方等について検討を行う委員会。

※「個別の(教育)支援計画」=障害のある乳幼児のニーズを正確に把握し、関係機関との連携のもと、乳幼児期から学校卒業後までの長期的な視点に立って一貫して的確な支援を行うために、障害のある乳幼児一人一人について作成した支援計画。

※「個別の指導計画」=幼児の障害の状態等に応じたきめ細かな指導が行えるよう、保育所(園)や幼稚園の保育計画や指導計画、当該幼児の個別の(教育)支援計画等を踏まえて、より具体的に幼児一人一人のニーズに対応して、指導目標や指導内容・方法等を盛り込んだ指導計画。

(4) 外部機関に相談・受診した子の数

(有効回答 = 保育所(園)120か所、幼稚園 = 113園)(複数回答可)



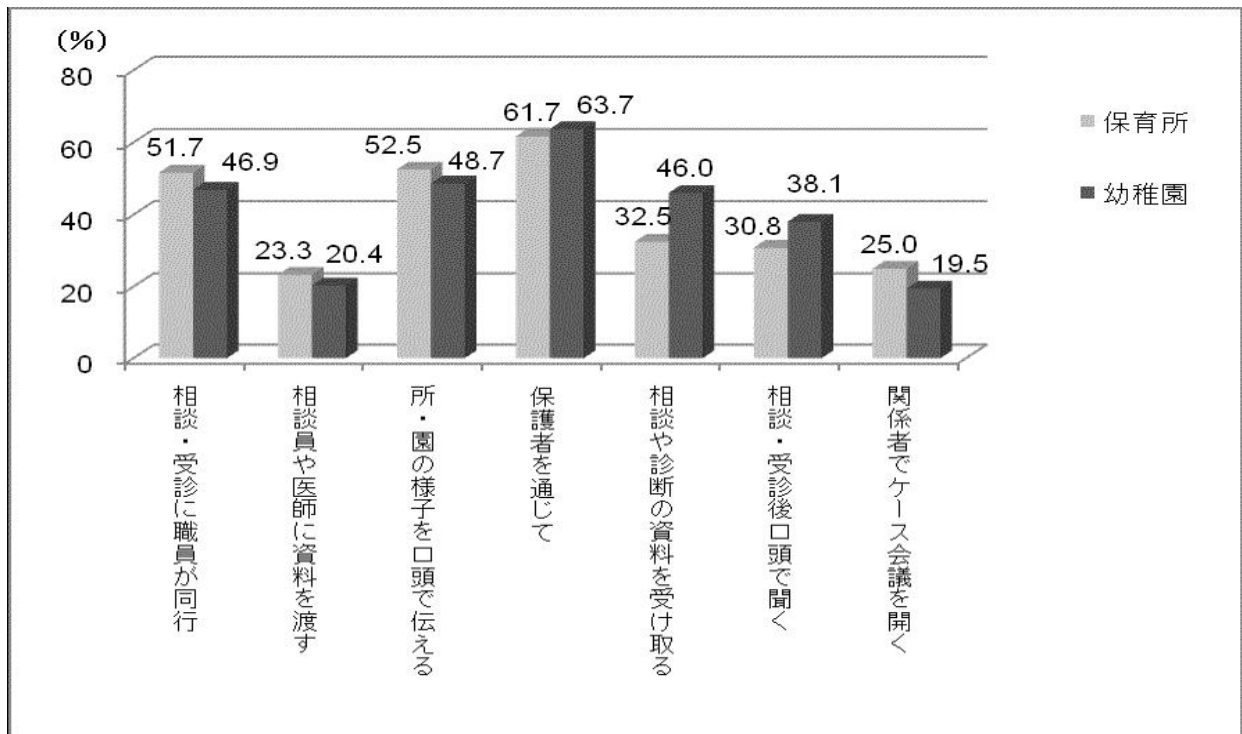
※「巡回相談」=県や市町村で実施している。専門的知識や経験を有する者が、保育所(園)・幼稚園、小・中学校、高等学校を巡回し、指導・助言を行う。

※「専門家チーム」=教育委員会関係者、教員、心理学の専門家、医師等の専門的知識を有する者で構成される組織。

(5) 外部機関への相談・受診時の情報交換の方法等

(有効回答 = 保育所(園)120か所、幼稚園 = 113園)

平成21年度(～3月1日現在)に外部機関に相談・受診時に行ったこと。



(6) 母子保健との連携 (有効回答 = 保育所(園)122か所、幼稚園 = 137園)

平成21年度(～3月1日現在)に「母子保健と連携したか」の問いに「はい」と回答した保育所(園)・幼稚園数。

	母子保健と連携したか所数	有効回答割合
保育所(園)	106	86.9%
幼稚園	66	48.2%

(7) 母子保健との連携として行ったこと

(有効回答 = 保育所(園)106か所、幼稚園 = 66園)

「母子保健と連携した」保育所(園)106か所・幼稚園66園に尋ねた連携の内容。

項目	保育所数	幼稚園数
定期的に保健師が訪れ、育児相談を実施した。	50	14
保育所(園)・幼稚園が依頼して、保健師による育児相談を実施した。	37	16
保護者の了解のもと、乳幼児健診の情報交換をした。	43	24
市町村の母子保健担当が、乳幼児健診のフォローを行った。	44	6
市町村の母子保健担当主催の親子教室(ペアレントトレーニング)などで連携した。	5	1
職員研修の際に連携した。	25	36

(8) 保育所(園)から幼稚園への引き継ぎ (有効回答＝保育所(園)61か所)

保育所(園)から幼稚園の通常の学級に(平成22年4月)入園予定の発達障害児(疑いのある子を含む)に対して、就園移行期の支援のツールを使用した子の人数等。

幼稚園の通常の学級に入園予定の人数(発達障害児に限らない)	1,059人
発達障害児や疑いのある子の人数	57人
移行支援シート等を使って引き継いだ子の人数(割合)	9人(15.8%)
個別の支援計画を使って引き継いだ子の人数(割合)	1人(1.8%)
保護者が独自形式で作成したツールで引き継いだ子の人数(割合)	9人(15.8%)

※「移行支援シート等」＝入園の受け入れの準備を進めるために活用する、子どもの相談内容や支援内容を記したもの。「就園支援シート」「サポートブック」など、自治体によって様々な名称がついている。ここでは、行政等が作成した形式によるものとし、保護者が独自の形式で作成したものは含めない。

(9) 保育所(園)から幼稚園への就園移行期の支援 (有効回答＝保育所(園)69か所)

発達障害児の就園移行期の支援として実施したこと。(複数回答可)

項目	保育所数	割合(%)
保育所(園)と幼稚園の合同職員研修	7	10.1
幼稚園教員との口頭での引き継ぎ	38	57.1
幼稚園教員が保育所(園)を訪問しての子どもの観察	13	18.8
保護者が同席しての幼稚園教員との引き継ぎ	3	4.3
保育士及び幼稚園の教員、小学校の教員が参加する連絡協議会での情報交換	12	17.4
保育所(園)と幼稚園の幼児の交流保育	22	31.9
幼稚園への体験入園	32	46.4
就園前の教育相談の実施	6	8.7

(10) 保育所(園)から小学校への引き継ぎ (有効回答＝保育所(園)78か所)

保育所(園)から小学校の通常の学級に(平成22年4月)入学予定の発達障害児(疑いのある子を含む)に対して、就学移行期の支援のツールを使用した子の人数等。

小学校の通常の学級に入学予定の人数(発達障害児に限らない)	1,060人
発達障害児や疑いのある子の人数	72人
就学支援シート等を使って引き継いだ子の人数(割合)	60人(83.3%)
個別の支援計画を使って引き継いだ子の人数(割合)	29人(43.1%)
保護者が独自形式で作成したツールで引き継いだ子の人数(割合)	2人(2.8%)

※「就学支援シート等」＝入学の受け入れの準備を進めるために活用する、子どもの相談内容や支援内容を記したもの。「就学移行シート」「サポートブック」など、自治体によって様々な名称がついている。ここでは、行政等が作成した形式によるものとし、保護者が独自の形式で作成したものは含めない。

(11) 保育所(園)から小学校への就学移行期の支援 (有効回答=保育所(園)78か所)

発達障害児の就学移行期の支援として実施したこと。(重複回答あり)

項 目	保育所数	割合(%)
保育所(園)と小学校の合同職員研修	7	9.0
小学校教員との口頭での引き継ぎ	51	65.4
小学校教員が保育所(園)を訪問しての子どもを観察	35	44.9
保護者が同席しての小学校教員との引き継ぎ	15	19.2
保育士及び幼稚園の教員、小学校の教員が参加する連絡協議会での情報交換	30	38.5
保育所(園)の幼児と小学校の児童の交流学习	20	25.6
小学校への体験入学	49	62.8
就学前の教育相談の実施	23	29.5
就学指導委員会への資料報告	27	34.6

(12) 幼稚園から小学校への引き継ぎ (有効回答=幼稚園134園)

幼稚園から小学校の通常の学級に(平成22年4月)入学予定の発達障害児(疑いのある子を含む)に対して、就学移行期の支援のツールを使用した子の人数。

小学校の通常の学級に入学予定の人数(発達障害児に限らない)	3,540人
発達障害児や疑いのある子の人数	129人
就学支援シート等を使って引き継いだ子の人数(割合)	66人(51.2%)
個別の教育支援計画を使って引き継いだ子の人数(割合)	14人(10.9%)
保護者が独自形式で作成したツールで引き継いだ子の人数(割合)	2人(1.6%)

※「就学支援シート等」=入学の受け入れの準備を進めるために活用する、子どもの相談内容や支援内容を記したもの。「就学移行シート」「サポートブック」など、自治体によって様々な名称がついている。ここでは、行政等が作成した形式によるものとし、保護者が独自の形式で作成したものは含めない。

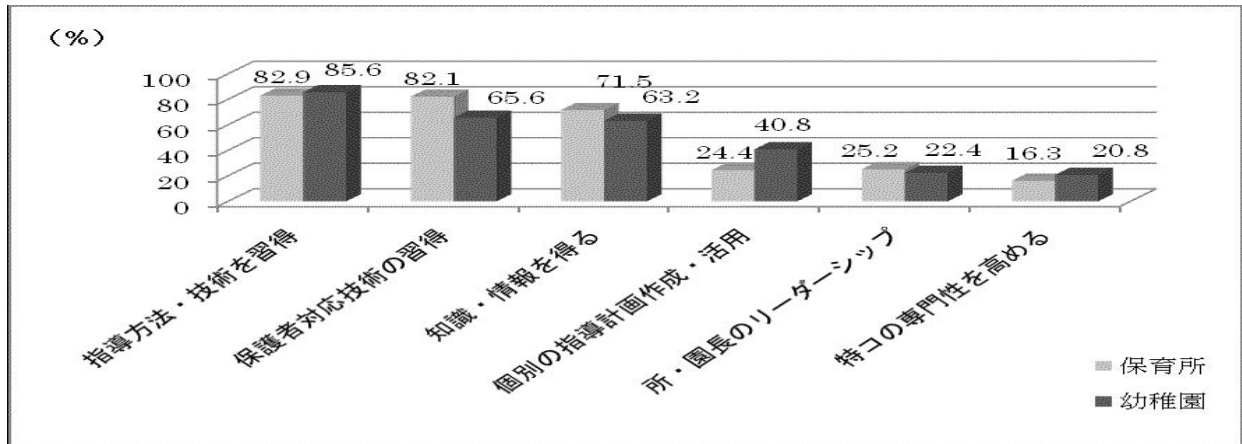
(13) 幼稚園から小学校への就学移行期の支援 (有効回答=幼稚園101園)

発達障害児の就学移行期の支援として実施したこと。

項 目	幼稚園数	割合(%)
幼稚園と小学校の合同職員研修	30	30.9
小学校教員との口頭での引き継ぎ	97	99.0
小学校教員が幼稚園を訪問しての子どもを観察	52	53.6
保護者が同席しての小学校教員との引き継ぎ	28	28.9
保育士及び幼稚園の教員、小学校の教員が参加する連絡協議会での情報交換	46	47.4
幼稚園の幼児と小学校の児童の交流学习	46	91.8
小学校への体験入学	89	39.2
就学前の教育相談の実施	38	39.2
就学指導委員会への資料報告	47	48.5

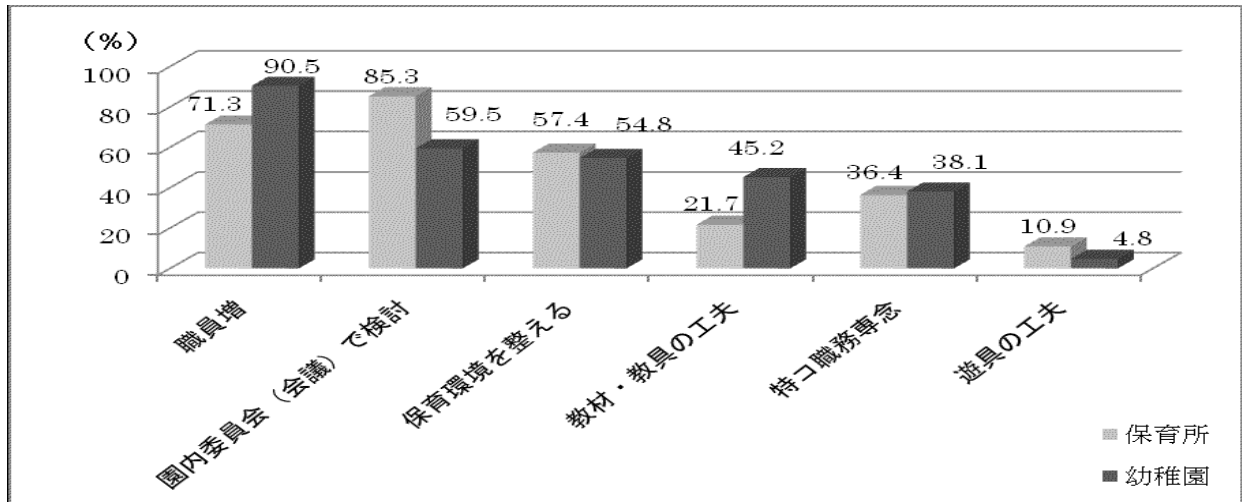
(14) 発達障害児の早期発見・支援のために、職員に今後必要なこと(上位3位)

(有効回答 = 保育所(園)123か所、幼稚園128園)



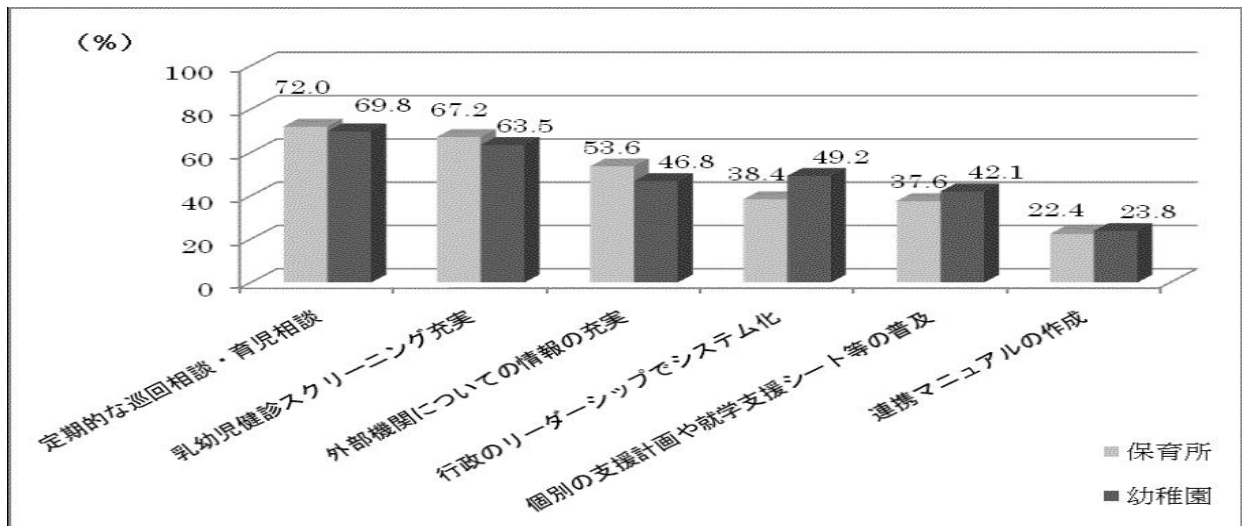
(15) 発達障害児の早期発見・支援のために、保育所(園)・幼稚園内の体制や環境等で今後必要なこと(上位3位)

(有効回答 = 保育所(園)129か所、幼稚園127園)



(16) 発達障害児の早期発見・支援のために、連携や体制づくりの上で今後必要なこと(上位3位)

(有効回答 = 保育所(園)125か所、幼稚園127園)



2. 市町村教育委員会への調査の結果

- 調査対象・・・徳島県内の24市町村全ての教育委員会
- 調査期間・・・平成22年8月～9月
- 対象期間・・・平成21年度（平成22年4月小学校入学児）
- 対象・・・知的障害をとまなわない発達障害児（疑いのある子を含む）

 注意欠陥・多動性障害＝ADHD（年齢に不釣り合いな注意力、又は衝動性・多動性が認められる）、広汎性発達障害（自閉症、アスペルガー症候群などが含まれ、社会性や対人関係に課題を抱える）、学習障害＝LD（全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す）
- 回収率・・・100%

（1）使用をすすめている発達障害児の支援のためのツールで、使用をすすめている様式がある教育委員会（複数回答可、有効回答＝24）

項目	教育委員会数	有効回答割合(%)
個別の教育支援計画	6	25.0
個別の指導計画	6	25.0
就学支援シート等	9	37.5
その他	4	16.7

※その他は、「就園支援シート」1か所、「相談支援ファイル」3か所

（2）「相談支援チーム」の設置状況（有効回答＝23、無回答＝1）

項目	教育委員会数	有効回答割合(%)
設置している	5	21.7
設置していない	16	69.6
その他	2	8.7

※「その他」は、「必要に応じて設置する」「教育委員会ではない課が設置している」が各1か所

※「相談支援チーム」＝障害のある子どもやその保護者への相談・支援にあたるために、医療、保健、福祉、教育、労働等の各機関や専門家で作った組織。

（3）保育所(園)や幼稚園を対象にした巡回相談を実施している教育委員会
 （有効回答＝24）

項目	教育委員会数	有効回答割合(%)
幼稚園に対し巡回相談を実施している。	8	33.3
幼稚園及び保育所(園)に対し巡回相談を実施している。	4	16.7
実施していない。	12	50.0

(4) 保育所(園)や幼稚園を対象にした巡回相談の実施方法

(問(3)において、巡回相談を実施している12の教育委員会が回答)

項 目	教育委員会数	有効回答割合(%)
市町村独自で実施している。	3	25.0
県や特別支援学校の巡回相談を活用し、実施している。	9	75.0

(5) 支援地域における「特別支援連携協議会」の設置 (有効回答=24)

項 目	教育委員会数	有効回答割合(%)
設置している。	17	70.8
近隣の市町村と合同で設置している。	3	12.5
設置していない。	4	16.7

※「特別支援連絡協議会」=関係部局・機関間の連絡協力を円滑にするためのネットワーク。障害のある子どもやその保護者に対して、地域に密着した具体的な支援の方策を検討する。

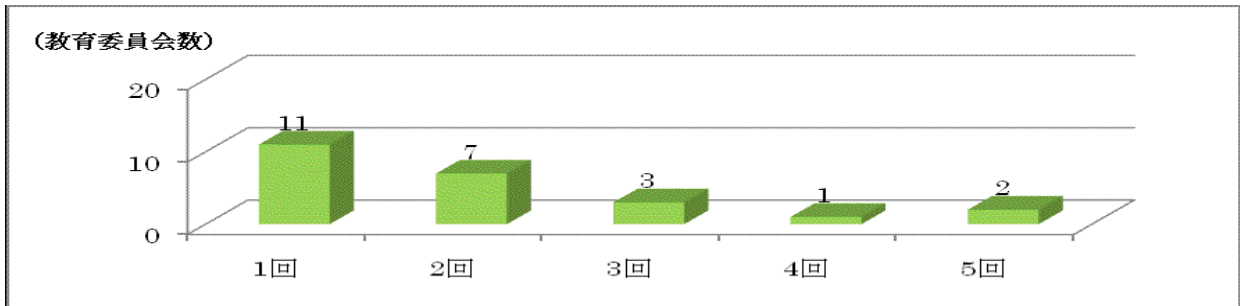
〈地域特別支援連絡協議会で行われたこと(自由記述、抜粋)〉

- 学校支援ボランティア派遣事業、学習支援ボランティア派遣事業、教育相談会実施
- 小・中学校特別支援教育支援員研修会、相談支援ファイルの配布、会報の発行
- 就学支援シートの作成、運用についての協議、相談支援ファイルの作成
- ワーキング会議及びケース会議、研修会、講演会

(6) 発達障害児に対する就学相談や就学指導として、教育委員会が平成21年度に実施した内容 (複数回答可、有効回答=24)

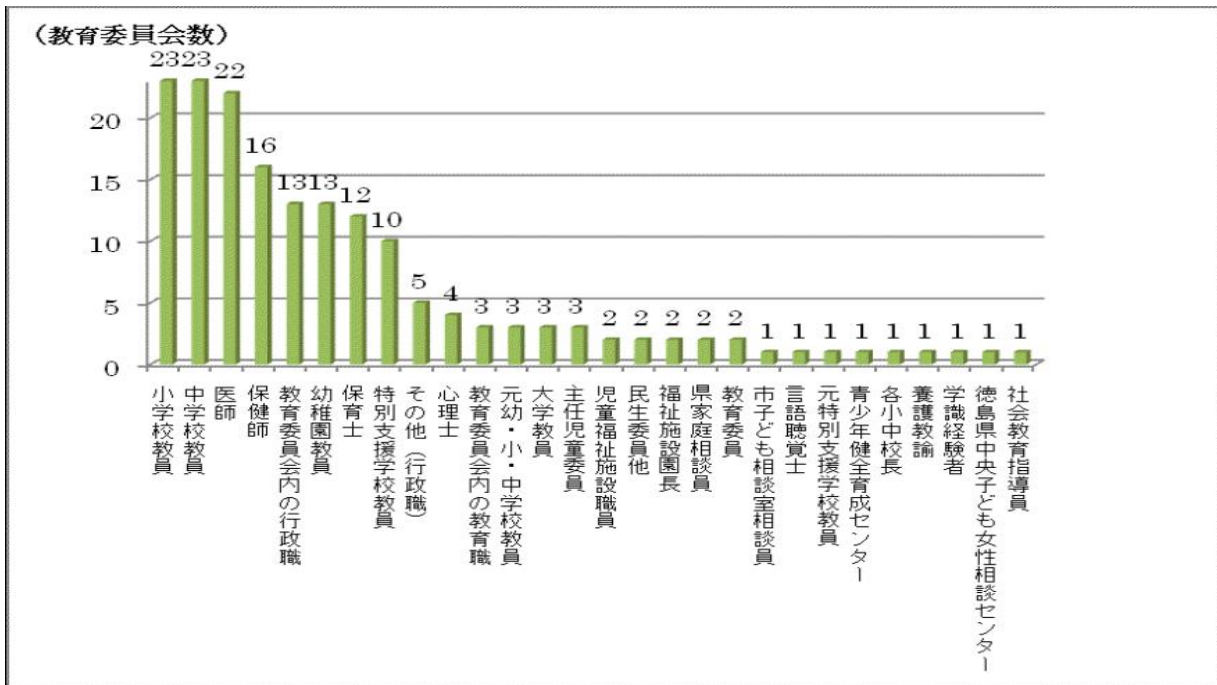
項 目	実施数	割合(%)
相談機関や医療機関、療育機関からの情報を活用する。	22	91.7
就学についての判定を学校に伝える。	21	87.5
保護者や担任からの聞き取りを行う。	20	83.3
就学の希望を保護者に聞いた上で、就学先についての助言を行う。	20	83.3
該当児が入学予定の学校に情報を伝える。	20	83.3
検査を行う。	19	79.2
該当児が在籍している保育所(園)・幼稚園と対応を協議する。	18	75.0
乳幼児健診の情報を活用する。	16	66.7
幼児の観察を行う。	15	62.5
選択できる就学先についての情報を保護者に伝える。	15	62.5
就学時健康診断で就学相談を行う。	14	58.3
相談機関や医療機関、療育機関を紹介する。	13	54.2
子どもへの接し方について保護者や担任に助言を行う。	11	45.8
障害についての情報を保護者や担任に提供する。	11	45.8
就学まで継続して複数回にわたり就学相談又は就学指導を行う。	10	41.7
就学支援シート等の活用を促す。	9	37.5
個別の教育支援計画の活用を促す。	8	33.3
その他(実態把握ができていない幼稚園教諭や園長が就学指導・相談を行う。)	1	4.2

(7) 平成21年度に開催した就学指導委員会の回数 (有効回答 = 24)



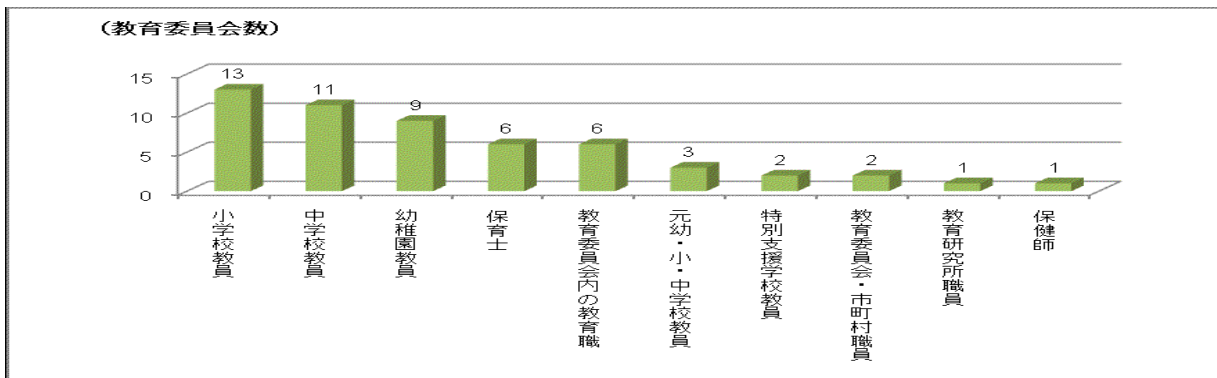
※「就学指導委員会」= 障害のある幼児児童生徒の適切な就学と特別支援教育の推進を図るために市町村教育委員会が設置した組織。

(8) 就学指導委員会の構成メンバーの職種 (複数回答可:有効回答=23、無回答=1)



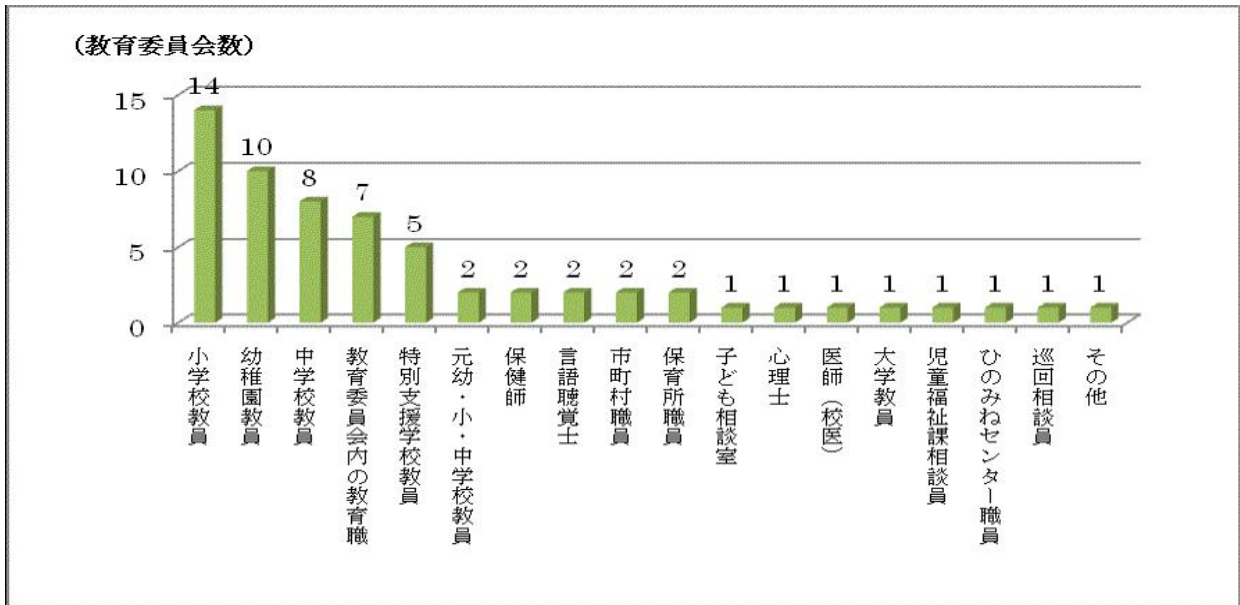
(9) 就学前の教育調査を実施している就学指導調査員の職種

(複数回答可、有効回答 = 24)

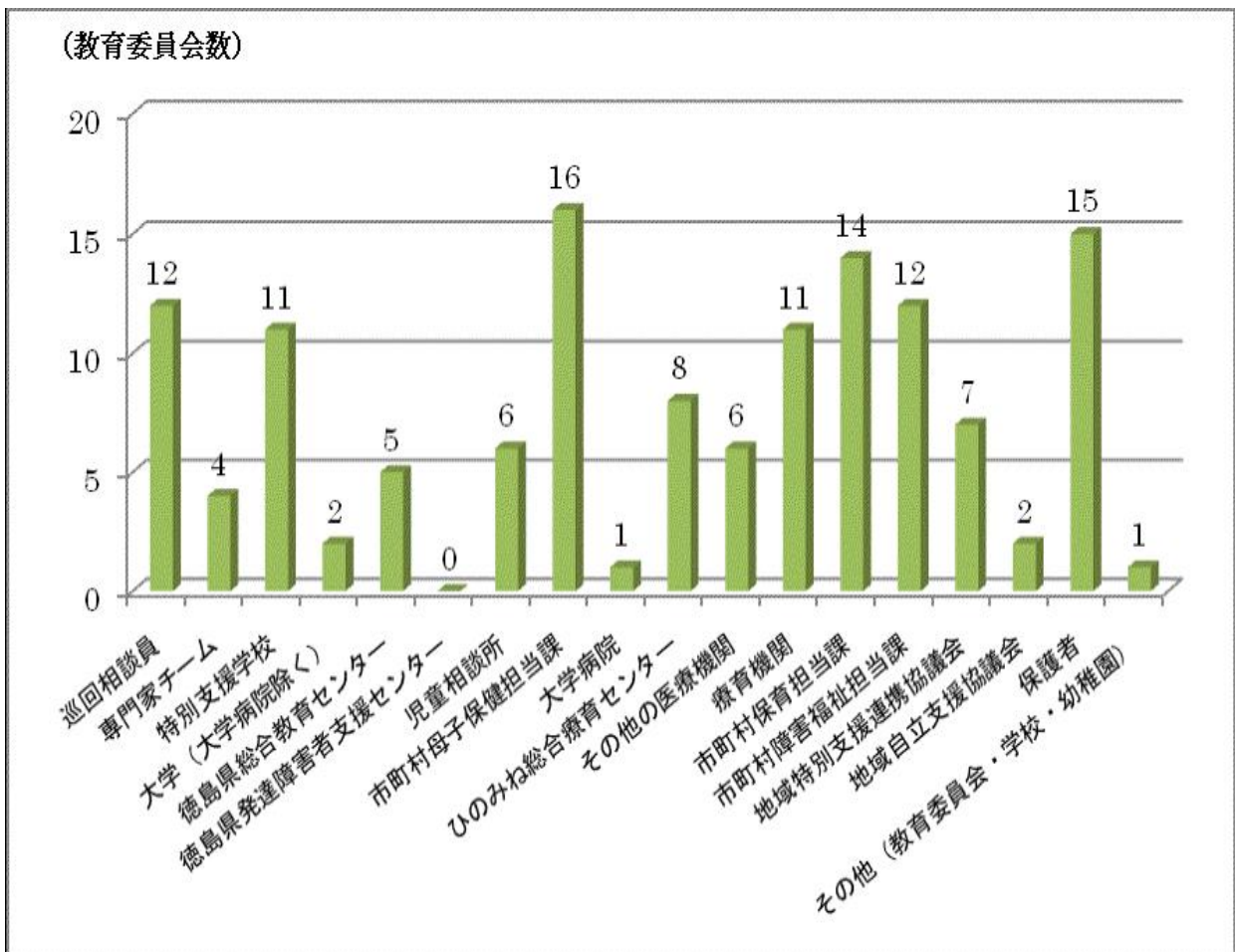


※「教育調査」= 就学時健康診断の結果及び保育所(園)・幼稚園・小学校から申請があった者等について市町村教育委員会が行う調査。

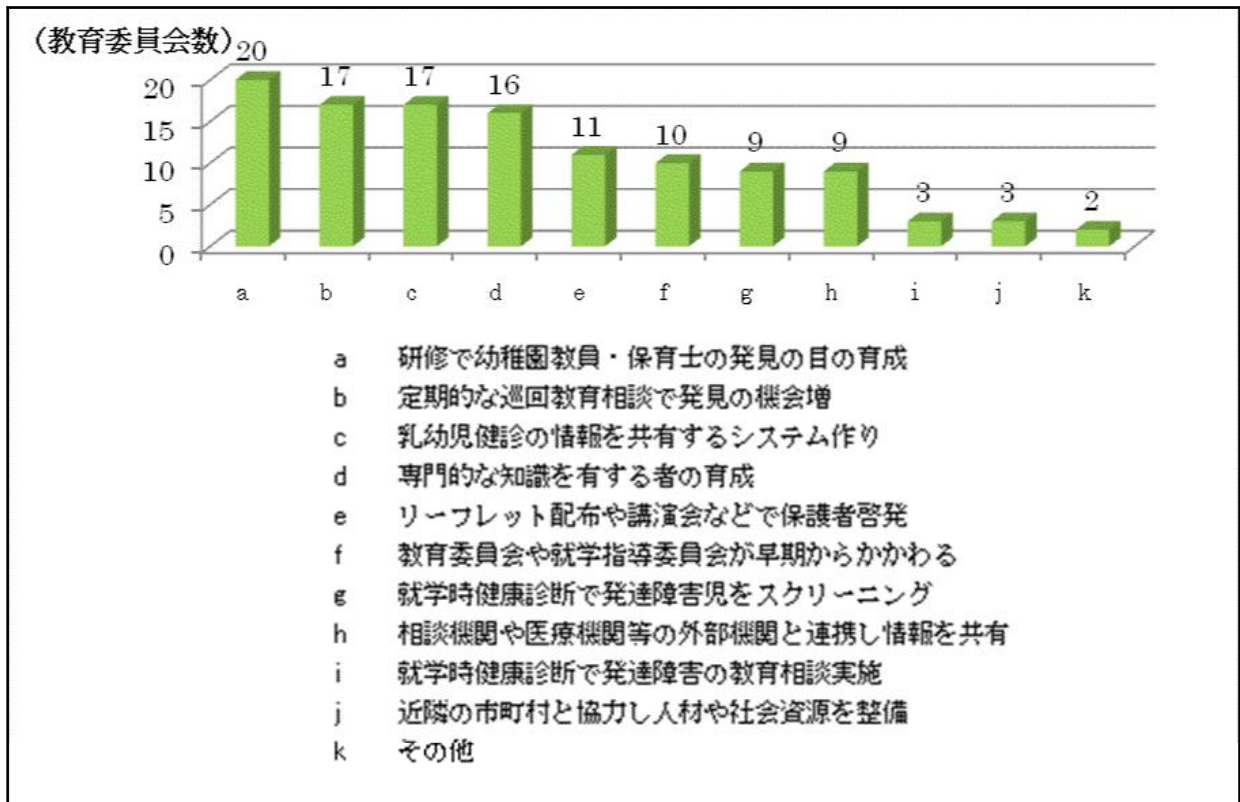
(10) 就学前の就学相談にあっている相談員の職種（複数回答可、有効回答＝24）



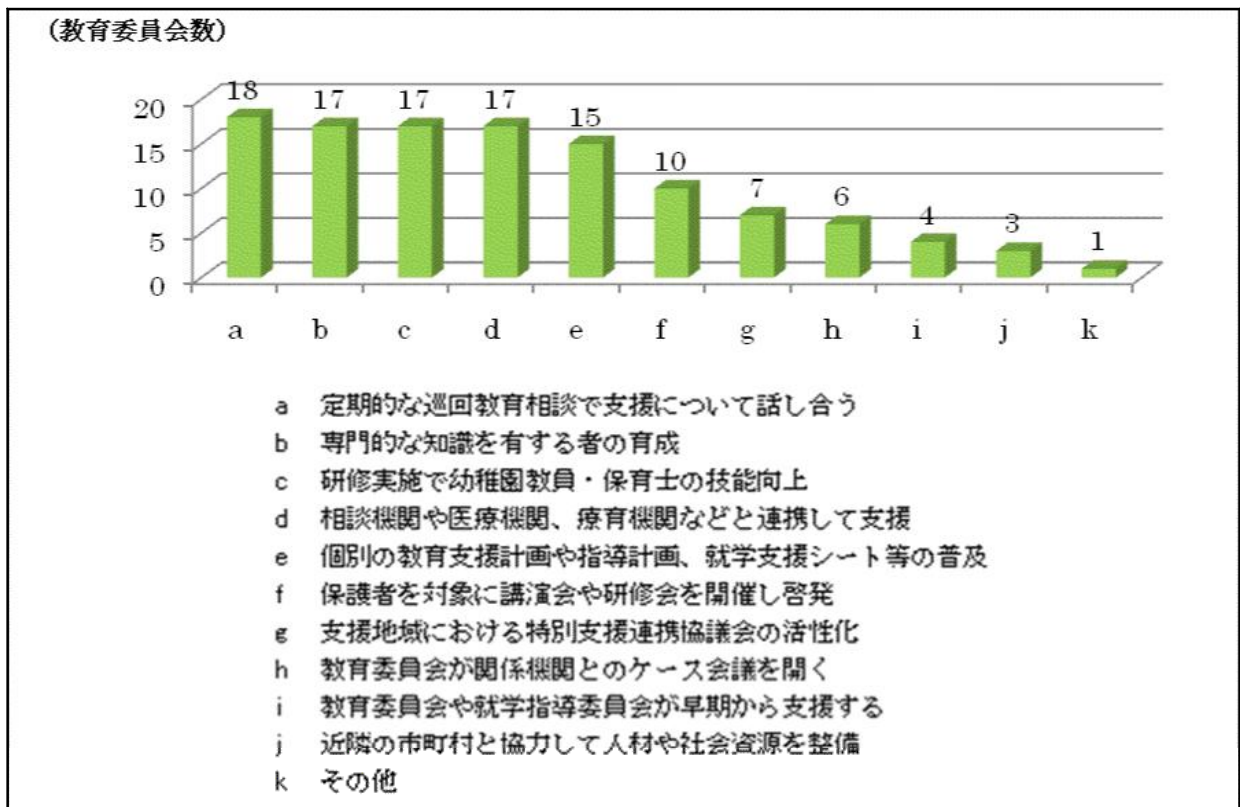
(11) 就学指導委員会が連携した関係機関（複数回答可、有効回答＝24）



(12) 発達障害児の発見において今後必要なこと（上位5位）（有効回答＝24）



(13) 発達障害児の支援において今後必要なこと（上位5位）（有効回答＝24）



3. 市町村母子保健担当課への調査の結果

- 調査対象・・・徳島県内の24市町村全ての母子保健担当課
- 調査期間・・・平成22年8月～9月
- 対象期間・・・平成21年度（平成22年4月小学校入学児）
- 対象・・・知的障害をとまなわない発達障害児（疑いのある子を含む）
 注意欠陥・多動性障害＝ADHD（年齢に不釣り合いな注意力、又は衝動性・多動性が認められる）、広汎性発達障害（自閉症、アスペルガー症候群などが含まれ、社会性や対人関係に課題を抱える）、学習障害＝LD（全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す）
- 回収率・・・100%

（1）母子保健のスタッフの数（有効回答＝23、無回答＝1）

母子保健スタッフ数	14人	8人	7人	6人	5人	4人	3人	2人	1人
市町村数	1	1	2	2	1	2	3	7	4

（2）5歳児健診の実施（有効回答＝24）

項目	市町村数
5歳児健診を実施している	4
5歳児健診を実施していない	17
5歳児の発達相談を実施している	3

（3）乳幼児健診の際に、発達障害を視野に実施していること（有効回答＝24） （5歳児健診については、5歳児健診を実施している4か所と発達相談として実施している3か所の計7か所が回答。）

項目	1歳6か月児健診市町村数	3歳児健診市町村数	5歳児健診市町村数
発達障害に関する問診	18	19	5
発達障害児発見の視点での行動観察	19	19	5
質問紙での発達障害のスクリーニング	9	10	3
発達検査	12	13	4
発達相談	10	12	3
保育所（園）、幼稚園での行動観察資料の参照	4	5	5
その他	2	2	0

(4) 乳幼児健診の受診と発達障害児の発見 (有効回答=24)

(発達障害児数については統計をとっていない市町村が1か所あるため、23市町村の回答。5歳児健診については、5歳児健診を実施している4か所と発達相談として実施している2か所の計6か所が回答。)

項目	1歳6か月児	3歳児	5歳児
乳幼児健診の対象児	6,030人	6,061人	491人
乳幼児健診の受診児	5,656人	5,496人	405人
乳幼児健診の受診率	93.8%	90.7%	82.5%
発達障害児(診断有)	9人	81人	9人
発達障害児(疑い児)	651人	811人	48人
発達障害児(診断有+疑い)	660人	892人	57人
発達障害児(診断有+疑い)の割合	11.7%	16.2%	14.1%

※ 受診率とは、(受診児÷対象時)×100

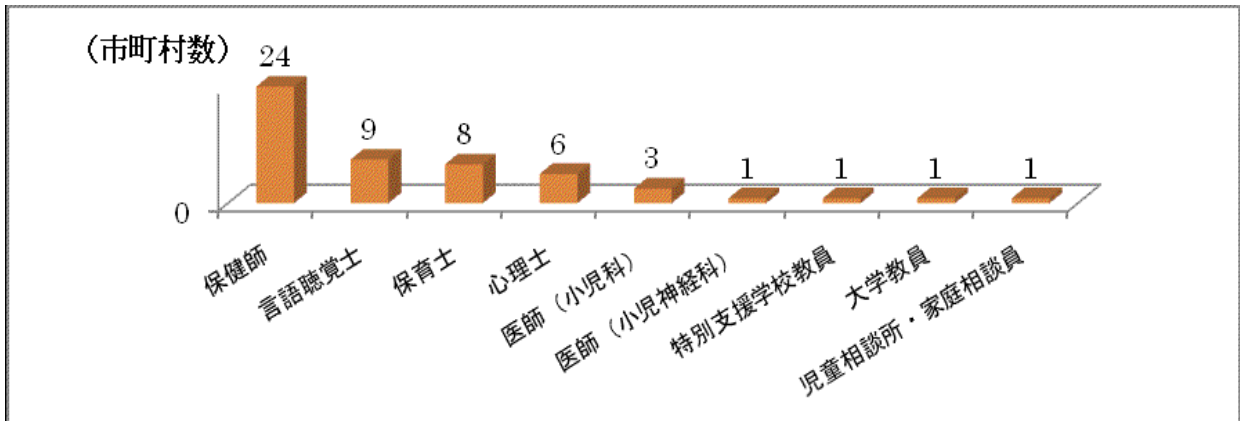
※ 発達障害の疑い児とは、健診時に健診スタッフの判断に基づきカウントされた児の数

(5) 乳幼児健診のフォローを実施した児の人数 (有効回答=23)

(統計をとっていない市町村は1か所。5歳児健診については、5歳児健診を実施している4か所と発達相談を実施している1か所の計5か所が回答。)(複数回答可)

項目	1歳6か月児 (人)	3歳児 (人)	5歳児 (人)
経過観察日を設けての個別相談	149	227	40
家庭訪問による個別の経過観察	111	83	3
電話による個別の経過観察	719	631	33
該当児のケース会議参加	4	3	4
該当児の相談・受診先との情報交換	54	56	8
該当児が在籍する保育所(園)・幼稚園との情報交換	250	553	38
保育担当課との情報交換	8	25	7
教育委員会や就学指導委員会との情報交換	0	22	3
家庭相談員との情報交換	36	41	3
フォロー教室の実施	68	30	0
子育てサークルの紹介	37	28	0
就学への移行支援教室等の紹介	0	0	0
地域の連絡会への参加	2	0	0
「個別の支援計画」を使用してのフォロー	0	0	4
フッ素塗布・聴力検査等・児会事業	133	9	0
次回健診時に対応	34	0	0
個別療育、言語訓練	4	3	0
転出先への連絡	0	1	0
キッズルーム(子育て相談)	0	1	0
その他	2	12	0

(6) 乳幼児健診のフォロースタッフの職種 (有効回答 = 24)



(7) 乳幼児健診のフォローを実施した児が相談受診した関係機関別の人数

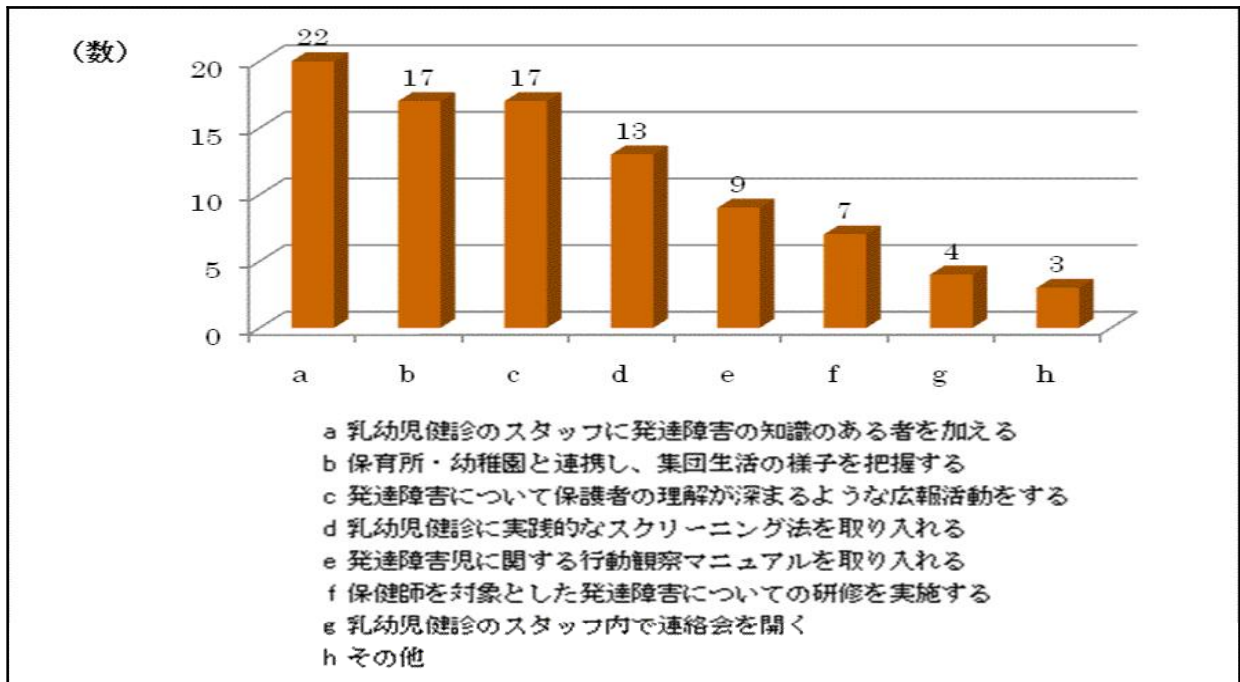
(1歳6か月児健診・3歳児健診の有効回答 = 19、無回答 = 5、5歳児健診の有効回答 = 5)
(複数回答可)

項目	1歳6か月児 (人)	3歳児 (人)	5歳児 (人)
幼稚園・保育所(園)を介して行われる巡回相談	55	196	12
自治体が設けている専門家チームへの相談	29	44	8
特別支援学校への相談	0	3	0
大学(大学病院を除く)への相談	0	1	0
教育委員会や教育研究所への相談	0	2	0
徳島県総合教育センターへの相談	0	0	0
徳島県発達障害者支援センターへの相談	2	0	0
児童相談所への相談	25	55	3
大学病院への受診・相談	13	16	0
ひのみね総合療育センターへの受診・相談	19	8	7
その他の医療機関への受診・相談	39	38	1
療育機関への相談	97	121	1
親の会等への相談	0	0	0
転出市町村への引き継ぎ	1	0	0
子ども家庭支援センター	0	1	0
町の個別相談	0	4	0
耳鼻科	0	1	0
その他	0	3	0

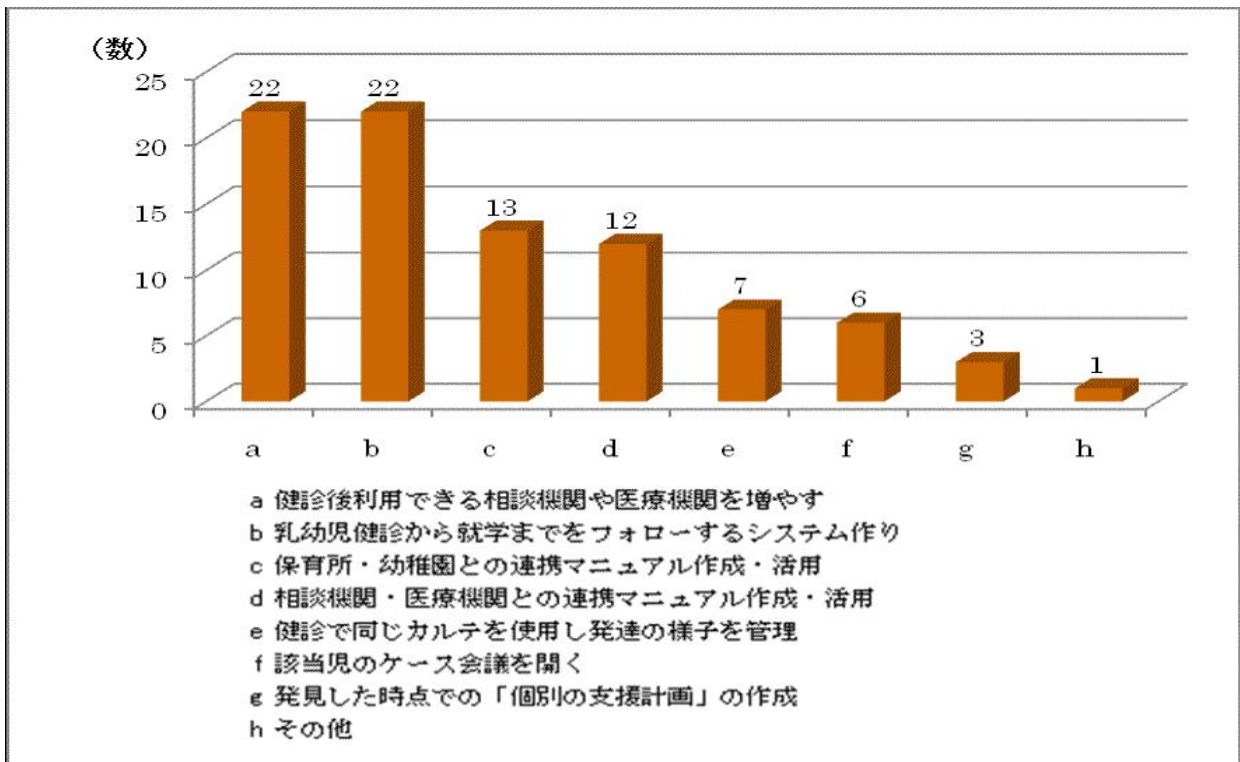
(8) 母子保健と保育、教育との連携 (有効回答 = 24)

	市町村数
保育所(園)や幼稚園と連携した	24
小学校と連携した	18
教育委員会または就学指導委員会と連携した	20

(9) 発達障害児の発見において今後必要なこと（上位4位）（有効回答＝24）



(10) 発達障害児の支援において今後必要なこと（上位4位）（有効回答＝24）



【参考資料】

- 文部科学省（2004）「就学指導資料」
- 文部科学省（2007）「特別支援教育の推進について（通知）」
- 文部科学省・厚生労働省（2008）「障害のある子どものための地域における相談支援体制整備ガイドライン（試案）」

第4章 各種相談先

発達障害者支援センター

発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、AD/HD（注意欠陥/多動性障害）、LD（学習障害）など）のある方やその家族、その方々と関わりのある関係機関・団体等の支援を行っています。

名称	電話	住所	備考
徳島県発達障害者支援センター	088-642-4000	徳島市国府町中360-1	

県障害福祉課・保健福祉局・総合県民局

障害福祉サービス、障害福祉制度等についてのいろいろな相談に応じています。

名称	電話	住所	備考
徳島県保健福祉部障害福祉課	088-621-2248	徳島市万代町1-1	
徳島県東部保健福祉局 徳島庁舎	088-626-8715	徳島市新蔵町1-67	地域支援担当
徳島県南部総合県民局 美波庁舎	0884-74-7368	美波町奥河内字弁才天17-1	社会福祉担当
徳島県西部総合県民局 三好庁舎	0883-76-0414	三好市池田町マチ2415	地域支援担当

こども女性相談センター

児童に関するあらゆる問題について、専門の職員が相談に応じ、必要な指導を行っています。特に、心身障害児については、適切な措置を図るために医師や児童心理司等が、医学的診断や相談を行うとともに、児童福祉施設の利用相談などを行います。（要予約）

名称	電話	住所	備考
中央こども女性相談センター	088-622-2205	徳島市昭和町5-5-1	
南部こども女性相談センター (南部総合県民局阿南庁舎内)	0884-22-7130	阿南市領家町野神319	
西部こども女性相談センター (西部総合県民局美馬保健所庁舎内)	0883-55-3323	美馬市穴吹町穴吹字明連23	

障害者相談支援センター

18歳以上の身体障害者及び知的障害者に対して、医師、判定員、福祉司などが、専門的な相談、判定を行っています。また、遠隔地での巡回相談も行っています。（判定は要予約）

名称	電話	住所	備考
徳島県障害者相談支援センター	088-631-8711	徳島市南矢三町2-1-59	

精神保健福祉センター

医師等や心理士等の専門スタッフが次のような相談に応じています。不登校やひきこもり、家庭内暴力や暴言、依存症に関する問題（アルコール・薬物・ギャンブル等）、自殺に関する問題、ご遺族の相談、その他精神保健福祉に関する問題

名称	電話	住所	備考
徳島県精神保健福祉センター	088-625-0610	徳島市新蔵町3-80	

特別支援学校等

地域における特別支援教育の中核として、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等に在籍する発達障害を含めた障害のある幼児児童生徒の教育的支援に関する相談に応じています。また、特別支援教育に関する研修会の開催や情報提供なども行っています。

名称	電話	住所	備考
徳島県教育委員会特別支援教育課	088-621-3141	徳島市万代町1-1	
徳島県立総合教育センター特別支援・相談課	088-672-5200	板野町犬伏字東谷1-7	
盲学校	088-622-6255	徳島市南二軒屋町2-4-55	
聾学校	088-652-8594	徳島市中徳島町2-104	
板野支援学校	088-672-3456	板野町大寺字大向北1-2	
国府支援学校	088-642-4055	徳島市国府町矢野字松木348	
鴨島支援学校	0883-24-6670	吉野川市鴨島町敷地1392-2	
ひのみね支援学校	0885-32-7847	小松島市中田町新開4-1	
阿南支援学校	0884-22-2010	阿南市上大野町大山田52	
阿南支援学校ひわさ分校	0884-77-2181	美波町北河内字本村360	
池田支援学校	0883-72-5281	三好市池田町州津井関1103-3	
池田支援学校美馬分校	0883-55-2237	美馬市美馬町字大宮西100-4	
鳴門教育大学附属特別支援学校	088-653-0151	徳島市上吉野町2-1	

通級指導教室（平成22年度）

通級指導教室では、比較的障害の程度が軽い児童生徒に対して、障害に基づく困難を主体的に改善・克服することを主な目的として、週1～8時間の範囲で障害に応じた特別の指導を行っています。利用を希望する方は、在籍している学校にお問い合わせください。

名称	電話	住所	対象	教室数
佐古小学校	088-622-7878	徳島市南佐古四番町1-32	言語障害	1
福島小学校	088-622-8197	徳島市福島1-7-28	言語障害 自閉症	1 1
八万小学校	088-652-5049	徳島市城南町4-1-52	言語障害・LD LD・ADHD	1 1
千松小学校	088-631-3944	徳島市南田宮4-5-5	LD・ADHD	1
国府小学校	088-642-1013	徳島市国府町中61-1	言語障害・LD	1
沖洲小学校	088-664-0321	徳島市南沖洲2-2-4	LD・ADHD	1
加茂名中学校	088-631-8686	徳島市庄町1-76-1	LD・自閉症	1
黒崎小学校	088-686-2243	鳴門市撫養町黒崎字宮津88-1	言語障害・LD	1
鳴門市第一小学校	088-685-1301	鳴門市大津町木津野字内田11	言語障害	2
桑島小学校	088-686-2239	鳴門市撫養町大桑島字与三左谷6	LD・自閉症	1
鳴門市第一中学校	088-685-2542	鳴門市撫養町南浜字浜田37	LD	1
南小松島小学校	0885-32-0149	小松島市小松島町字高須36	言語障害	1
中野島小学校	0884-22-0439	阿南市上中町中原182-1	言語障害・LD	1
見能林小学校	0884-22-0506	阿南市見能林町西内35	言語障害・LD	1
津乃峰小学校	0884-27-0227	阿南市津乃峰町戎山129-37	LD・ADHD	1
阿南第一中学校	0884-22-1404	阿南市長生町西方589-1	LD・自閉症	1
鴨島小学校	0883-24-2237	吉野川市鴨島町鴨島564	言語障害・LD	2
岩倉小学校	0883-52-1249	美馬市脇町岩倉2879	LD	1
池田小学校	0883-72-1241	三好市池田町江ノ2379-4	LD・自閉症	1
日和佐小学校	0884-77-0055	海部郡美波町奥河内本村34-1	LD・ADHD	1

(通級指導教室のつづき)

名称	電話	住所	対象	教室数
穴喰小学校	0884-76-2009	海部郡海陽町久保字松本88	L D	1
松茂小学校	088-699-2250	板野郡松茂町住吉字住吉開拓187	L D・A D H D	1
北島北小学校	088-698-2010	板野郡北島町北村字壱町四反地20-1	L D・A D H D	1
藍住南小学校	088-692-2238	板野郡藍住町奥野字和田95	言語障害・L D	2
貞光小学校	0883-62-2039	美馬郡つるぎ町貞光字野口87	言語障害・L D	2
昼間小学校	0883-79-2158	三好郡東みよし町昼間1637	L D	1
聾学校	088-652-8594	徳島市中徳島町2-104	難聴	1

知的障害児通園施設

子ども達の日々の通園を通して、集団内で生活や遊びを中心とした療育を行い、子どもの成長発達を促進します。

名称	電話	住所	備考
小松島療育センター	0885-32-6084	小松島市横須町11-7	
池田療育センター	0883-72-5223	三好市池田町州津井関1104-11	
ねむの木療育園	088-699-2200	板野郡松茂町広島字鞆の先23-1	

障害児等療育支援事業実施施設

身近な地域において、訪問や外来による療育指導、関係機関等に対する指導や支援を行います。

名称	電話	住所	備考
あおばの杜	088-668-1212	徳島市上八万町広田374	
れもん	088-674-1333	名西郡石井町石井字白鳥73-1	
ねむの木療育園	088-699-2200	板野郡松茂町広島字鞆の先23-1	
あおばの郷	088-694-5777	板野郡上板町神宅字西金屋36-1	
野菊の里	0883-24-6168	吉野川市鴨島町敷地字井堰1463-1	
発達支援センターとくしま	088-655-3720	徳島市末広5-1-64	
小松島療育センター	0885-32-6084	小松島市横須町11-7	
ひのみね療育園	0885-32-0903	小松島市中田町新開4-1	
シーズ	0884-24-3366	阿南市上中町南島15-1	
障害者地域生活自立支援センター(ばんそうS&S)児童部	0884-77-0434	海部郡美波町北河内本村344-1	
樫ヶ丘育成園	0883-52-2584	美馬市脇町拝原2853-1	
池田療育センター	0883-72-5223	三好市池田町州津井関1104-11	

児童デイサービス事業所

障害児に日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行います。

名称	電話	住所	備考
(医)啓仁会ピノキオの家	088-622-0012	徳島市昭和町8丁目66	
自立支援センターあぶろーち	088-632-4322	徳島市南島田町3丁目39	
ジュニアクラブ	088-632-6852	徳島市名東町1丁目91番地	
てんま発達支援センター	088-632-6826	徳島市名東町1丁目94番1	
発達支援センターとくしま	088-655-3720	徳島市末広5丁目1-64	
児童デイサービスきりん	088-686-1011	鳴門市撫養町小桑島字西65	
自然派フリースクール～ステ～	090-8284-0954	小松島市立江町字北城13	
児童デイサービスびぎん	0884-22-6374	阿南市下大野町松ノ本5-6	

(児童デイサービス事業所つづき)

名称	電話	住所	備考
発達支援センターよしのがわ	0883-42-6228	吉野川市山川町堤外3-12	
児童デイサービスゆずっこ	0883-26-0884	吉野川市鴨島町西麻植字大東130-6	
(医) 啓仁会リトルエンゼル	088-697-2281	板野郡北島町中村字東堤ノ内19-1	
発達支援センターきりん	088-625-7893	徳島市新南福島1丁目6-3	
あおばの杜	088-668-1212	徳島市上八万町広田374	
障害支援センター桜	088-686-5706	鳴門市里浦町里浦字坂田432-43	
(医) 啓仁会くれよんハウス	088-624-5001	徳島市昭和町8丁目48-14	
こども未来ステーション	0885-35-1280	小松島市中田町字狭間47	
れもん徳島	088-678-7133	徳島市寺町本町西1-56	
(医) 啓仁会にじのいえ	088-622-0012	徳島市東吉野町3-30-7	

親の会・団体等

発達障害に関して同じような悩みや困難を抱える保護者や関係者が協力し、支えあう自助グループです。活動内容については、各会にお問い合わせください。

名称	電話	住所(事務局)	活動場所
徳島県自閉症協会 (代表者 橋本 弘房)	088-643-1147	徳島市昭和町5-5-1(県中央 こども女性相談センター内)	県下全域
		Eメール: mimi19holy@kzc.biglobe.ne.jp	
【活動内容】	○親子活動(キャンプ、料理教室、水泳、登山など) ○講演会、陳情ほか		
徳島県自閉症児とともに会 (代表者 堀内 宏美)	088-643-1147	徳島市国府町府中582-8	県下全域
		Eメール: mimi19holy@kzc.biglobe.ne.jp	
【活動内容】	○講義(療育及び算数指導について) ○話し合い		
あおぞら (代表者 大島 善江)	090-5140-4656	徳島市佐古一番町12-15	県下全域
		Eメール: aozora.ld@gmail.com HP: http://aozora-ld.jimdo.com/	
【活動内容】	○(会員対象)学習交流会、懇談会 ○(一般対象)セミナー、おしゃべり会、イベントほか		
特定非営利活動法人徳島発達 障害ケアマネジメント協会 (代表者 庄垣内 友子)	088-632-4455	徳島市南島田町3-39	県下全域
【活動内容】	○機関誌の発行 ○勉強会、相談、就労支援ほか		
オーティの会 (代表者 濱田 正子)	080-6399-1593	徳島市南矢三町2-2	徳島市中心
		HP: http://auti.sakura.ne.jp/	
【活動内容】	○保護者勉強会 ○子どもたちの体験活動、セミナー、親睦会		
松茂町愛光会 発達障害児親部 会『わらふ』 (代表者 吉本 麻衣子)	088-699-5352	板野郡松茂町広島字三番越2 -2(松茂町社会福祉協議会内)	松茂町
		Eメール: m-syakyo@wonder.ocn.ne.jp	
【活動内容】	○おしゃべり会(月1回) ○学習会(3ヶ月に1回)、子どもたちの交流会		
ぱれっと (代表者 丸山 かおり)	090-7621-0368	海部郡美波町赤松字阿地屋2 0-3	美波町中心
【活動内容】	○情報交換会、勉強会 ○親子の活動(制作、クリスマス会、演奏会)		

発達障害ライフステージ支援ハンドブック

～理解と支援、交流を広げよう～

平成23年3月

発行年月日 平成23年3月31日

調査・編集 発達障害支援プロジェクトチーム

橋本 俊顕 (徳島赤十字ひのみね総合療育センター)
津田 芳見 (鳴門教育大学大学院特別支援教育専攻)
高原 光恵 (〃)
富永 由美子 (〃)
尺長 賢 (徳島県保健福祉部障害福祉課)
藤井 加代子 (徳島県発達障害者支援センター)
多田 優子 (徳島県教育委員会特別支援教育課)
保 護 者 (オーティの会)
吉見 貴子 (すかんぼ徳島代表・ひかり保育園)
梅岡 圭太郎 ((社)徳島青年会議所 2010年度青少年委員会委員長)
井上 とも子 (鳴門教育大学大学院特別支援教育専攻)

発 行 鳴門教育大学大学院特別支援教育専攻

問い合わせ 徳島県発達障害者支援センター

電 話 : 088-642-4000 ファクシ : 088-642-4041

E-mail : hattatsu@mail.pref.tokushima.lg.jp

U R L : <http://our.pref.tokushima.jp/hattatsu/index.php>

徳島県保健福祉部障害福祉課

電 話 : 088-621-2248 ファクシ : 088-621-2241

